

議会報告会での主な意見・提言についての対応方針について

番号	意見・提言	議会の対応方針など
	<p>広見線を活性化するためには利用者を増やすことが必要だ。可児市と御嵩町だけでは不足、名古屋市から足を運んでいただくようなイベントが必要ではないか。可児地域の山菜など(筍、里芋)を利用したイベントを行い、名鉄の協力を得たらどうか。</p>	<p>名鉄広見線活性化協議会では、積極的な情報発信、広域的な観光やイベントの実施等に取り組む予定となっており、名鉄も利用が増えるようイベント等を計画している。各団体などの取り組みを注視し、提案できるものがあれば提案したい。</p>
	<p>予防医療が大切と考える。市の健康診断が2か所(岐阜社会保険病院・総合保健センター)で行われているが、桜ヶ丘から遠い。高齢者の利便性から各地域で健康診断(がん検診を含む)を実施し、受診しやすい環境整備が必要だ。</p>	<p>受診率向上のため考えられる方策を提案していきたい。生活習慣病に着目した特定健診と保健指導を推進し、市民の生涯にわたる健康増進を図るとともに、健康意識の向上と医療費の抑制につなげていくことが重要と考える。</p>
	<p>可児駅前整備の現状に不満であり、今後の拠点施設建設も含めて議会のしっかりしたチェックをお願いしたい。</p>	<p>可児駅東土地区画整理事業は地元理解のもと完了しつつある。駅前整備は未整備の部分もあるので、今後も議会として、しっかり対応し、提案できることは積極的におこなっていく。外部委託された可児駅前整備計画のコンサルタント事業(駅前拠点施設機能検討調査)に対しても、出された結果を厳格に検証していく。</p>
	<p>市内にサッカー場をぜひ建設してほしい。</p>	<p>市民の皆さんが活発にスポーツに興じられる施設整備は、今後とも進めなければならないと考える。財政状況をしっかり見据えながら判断していく。</p>
	<p>市内幼稚園、保育園の非構造部材の耐震化も進めてほしい。</p>	<p>議会においても昨年の決算審査の際に、「小中学校の校舎や屋内運動場の耐震補強事業は、ほぼ終了する。今後、発生することが予測される巨大地震対策として、施設整備(非構造部材)の破損、落下による危険性について早急に再点検し、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう環境を整備すること。」と提言をしている。順次進めていくべき課題であるので、速やかな処置を求めていく。</p>
	<p>政務活動費の厳格な支出をお願いしたい。</p>	<p>可児市議会では平成13年4月に「可児市議会政務調査費の交付に関する規程」を条例化し、厳格な規定に基づき運用している。平成25年3月1日に地方自治法の改正により、政務調査費から政務活動費へと名称が変更となった。</p> <p>政務活動費とは、議員の調査研究、その他の活動に役立てるために必要な経費の一部として交付されるもので、可児市議会では議員一人当たり月に月額2万円が半年ごとに会派(会派に属さない場合は議員)に交付されている。各会派は、毎年、収支報告書に全ての支出について領収書などを添え、議長に報告している。また、残額は市に返還している。今後も厳格な運用を行う。</p>

番号	意見・提言	議会の対応方針など
	昨今の集中豪雨の影響で兼山地区でも山崩れが発生している。市役所の担当部署も議員も危険箇所を注意深く見守り、何かあった時には即対応をお願いしたい。	災害時の議員行動マニュアルに沿って速やかに対応することとしている。